

## ロード・トマスと色白のアネット

1 トマスと色白のアネットが

一日丘にすわっていました

夜がきて 日が沈み

それでも話はつきません

2 トマスが一言冗談をいって

色白のアネットが誤解したのです

「ああ ぼくは家族の気持にそむいて

妻を娶ろうとは思わない」

3 「あなたがそんな気持なら

誰もあなたに嫁がぬでしょう」

トマスは家に帰って 跪き

お母さんにいいました

4 「ああ 御意見を 御意見を お母さん

よい御意見をお聞かせください

栗色娘と結婚して

色白のアネットをあきらめましょうか」

5 「栗色娘には財産と財宝がある

色白アネットには何もない

おまけにアネットの美しさも

すぐに褪せてしまうでしょう」

6 トマスは兄のところへ行きました

「さあ お兄さん 御意見をお聞かせ下さい

ああ ぼくは栗色娘と結婚して

色白のアネットをあきらめましょうか」

7 「栗色娘には牝牛がある 弟よ

栗色娘には牝牛がある

栗色娘と結婚して

色白のアネットはあきらめるのだ」

8 「牝牛は牛舎で死にますよ 兄さん

牝牛は牛舎で死にますよ

ぼくの手もとに残るのは  
炉端の肥った助平女」

9 トマスは姉のところへ行きました

「さあ お姉さん 御意見をお聞かせ下さい  
ああ 栗色娘と結婚して

色白のアネットをあきらめましょうか」

10 「色白のアネットを選びなさい トマス

栗色娘はやめなさい

あとになって ひどい女をもらったものと  
悔やむことのないように」

11 「いや ぼくはお母さんの意見に従います

そしてすぐに結婚します

ぼくは栗色娘を選びます

色白のアネットはよそへ行くがよい」

12 色白のアネットのお父さんが跳とび起きました

夜明け二時間前のことでした

そして娘が眠っている

部屋へ入って行きました

13 「起きなさい 起きなさい アネット

絹の靴をはきなさい

聖メアリ教会へ

すてきな結婚式を見に行こう」

14 「侍女おまえたち お化粧部屋へ行つて

わたしの髪を結っておくれ

これまで飾りをつけたところは

十倍はでにやっておくれ

15 「侍女おまえたち お化粧部屋へ行つて

わたしの下着を着せておくれ

半分は見事なオランダ織り

半分は手縫いのわたしの下着」

16 色白のアネットが乗った馬は

風のように駆けました  
前足まえには銀の蹄ひづめをつけて

後足あとには燃えるような金の蹄まじひ

17 二十四の銀の鈴が

そのたてがみについていました  
北国を吹くそよ風に

鈴がそれぞれ鳴りました

18 二十四人の陽気な騎士が

アネットについて馬に乗り

二十四人の色白の貴婦人がお伴をしました  
まるでアネットは花嫁のよう

19 聖メアリ教会へ着いたときに

アネットは入口の石にすわりました  
色白のアネットが着た衣裳が

人々の眼に映はえました

20 教会へ入ったときにアネットは

太陽のように輝きました  
腰にまいたその帯には

真珠がちりばめてありました

21 アネットは栗色の花嫁のそばにすわりました

その眼はとても澄んでいました  
アネットが近寄ってきたときに

トマスはすっかり花嫁のことを忘れました

22 トマスは一輪のバラを手にもって

それに三回接吻をして  
栗色の花嫁越しに

色白のアネットの膝ひざにおきました

23 栗色の花嫁が立ち上がっていいました

「いまいましそうにいいました  
「あなたをそんなに白くする

バラ水をどこで手に入れたの」

24 「わたしがバラ水を手に入れたのは

あなたの手には入らぬところ  
わたしがバラ水を手に入れたのは  
わたしのお母さんのお腹なかの中」

25 花嫁はきれいな髪飾りから

長いかんざしを抜きとって  
アネットの胸を刺しました  
アネットは二度と口をききません

26 トマスは蒼白あおいアネットを見て

どうしたことかと驚きました  
いとしい恋人の心臓の血を見て  
狂ったように怒りました

27 トマスは七首あいくちをぬきました それは鋭く

鋭く短い刀です  
それで栗色の花嫁を刺したのです  
花嫁はトマスの足もとに倒れました

28 「おお まつてくれ いとしいアネット

おお まつてくれ いとしい恋人ひと」  
トマスは叫んで胸を刺し  
アネットのそばで死にました

29 トマスは教会の外に

アネットは教会の中に埋うめられました  
外かから樺かばの木が生えて  
内からバラが生えました

30 二つの木は大きく大きくなりました

まるでいつしよになりたいかのよう  
これでみなさんおわかりでしょう  
二人はまことの恋人でした